

本年度の学校評価

本年度の 重点目標	『常に高い志（目標）を持ち、実践していくと共に一つ上を目指す』 ～グローバル人材・リーダーの育成に努める～		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T Aとの連携を図り、円滑に教育活動が行えるよう推進する。 ・ 式典の厳粛な進行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会・委員会で意見の出しやすい雰囲気を作り保護者への配付物にも工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会等の連絡が早めに保護者に届くように余裕を持って準備する。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績処理だけでなく、調査書や指導要録の作成にも校務支援システムを活用する。 ・ 生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアル説明を実施し、わかりやすく、間違いが起りにくい方法を検討する。 ・ 学習時間調査や考査の統計資料を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの入力が円滑にすすめられるように、教育情報部とも連携する。 ・ 各学年で学習と生活の記録を活用させてもらう。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の交通マナーを向上させ、交通事故件数を減少させる。 ・ 生徒自ら規律を守り、元気に挨拶できる意識を育てる。 ・ いじめの未然防止に係る取組を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの命を守るための啓発活動、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 ・ 指導日と日常指導の両面から意識の向上を図る。 ・ 情報モラルの向上を図り、携帯機器との関わり方を啓蒙する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを守ることができない生徒が出てきた場合は、自転車通学の禁止も視野に入れて指導をおこなう。 ・ 身だしなみ指導の具体的基準の見直しと徹底を図る。また、全職員が同じ意識のもとで生徒への声かけを実施する。 ・ スマホへの依存を防ぎ、生徒個々が成長できる健全な人間関係の構築を目指す。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の観点を持った進路指導を行う。 ・ 学年団との連携を図り、本校生徒にとってより有意義な進路指導の体制を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「職業ガイダンス」「大学出張講義」「看護実習」等を行い、生徒の勤労観や進路意識の向上を図る。 ・ 進路に関する情報を教員にも積極的に提供し進路について理解を深める場を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ L Tおよび総合的な学習の時間と連携する。大学案内等を見やすいように整理し、また購入書籍を精選し、生徒が進路の情報を得やすいような環境整備を行う。 ・ 新旧3年情報交換会や検討会などの内容を充実させる。 ・ 新課程入試に該当する第1学年の活動を工夫する。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ清掃に力を入れる。 ・ スクールカウンセラー（S C）をより活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ清掃担当者を対象に清掃講習会を実施する。 ・ 清掃活動を充実させ、清掃点検を実施する。 ・ 年度当初にS Cと職員が対面する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの床等に水を流して清掃する方法を、奨励していく。 ・ 清掃が不十分な場所には改善を求める。 ・ S Cの余裕がある時間帯は、相談室ではなく、職員室に待機してもらい、職員が気軽に相談できる状況を作る。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な情報発信を行う。図書館利用の啓発を図る。 ・ I C T機器の効果的な活用法を研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内やホームページで効果的に情報発信する。 ・ 読書会や図書館だよりで、生徒の啓発に努める。 ・ I C T機器の利用法を研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページについては定期更新とともに、情報を速やかにアップする。 ・ 生徒に図書館だよりを作成させ、生徒の視点に立った内容になるように努める。 ・ 授業での利用を意識したI C Tの利用法を紹介し、より効果的な授業展開の一助とする。

特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動を活発化する。学校全体が活気に溢れる学校行事にする。 部活動の合理的な活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部、各委員会を生徒主体で開催する。 生徒が行事に主体的に取り組める雰囲気を作る。部活動への側面支援と指導を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒主体で活動する機会を増やし、生徒の意見を生かしていく。 学校全体への情報発信、職員の役割分担の精選により、行事内容の充実を図る。部顧問と積極的に連携し、合理的な活動で練習の効果を高める。
学校いじめ防止基本方針に基づく取り組み	<ul style="list-style-type: none"> いじめを未然に防止する。 いじめの早期発見に努める。 情報の共有化を図る。 組織的に迅速に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現職研修等の充実により全教職員がいじめに対する共通理解を持つ。 教育相談委員会を定期的に関き、生徒の情報収集と情報の共有化に努める。教育活動全体を通し、生徒の情操教育に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 被害生徒を守り通すという姿勢で対応する。 加害生徒には、教育的配慮のもと毅然とした姿勢で対応する。 カウンセラー、警察、法務局など関連機関と連携をとりながら組織的に対応する。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> 多忙化解消に取り組む。 在校時間等状況記録を有効に利用する。 教員の意識改革を図る。 年次休暇などを取得しやすい環境を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎施設時間を設定する。部活動休養日を設定する。 職員会議のペーパーレス化と効率化を目指す。 面接指導を受けることを勧める。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームを立ち上げ、広く意見を集め、ボトムアップ方式をとる。 教育の質の低下にならないよう注意する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導、進学指導の充実状況について。 学校行事、部活動の充実状況について。 本校に期待することについて。 		

前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	『常に高い志（目標）を持ち、実践していくとともに一つ上を目指す』 —グローバル人材・リーダーの育成に努める—		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> P T Aとの連携を図り、学校と保護者とが協力して円滑に教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A役員会・委員会で、役員・委員が積極的に意見交換をできる場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の関係でP T A関係行事へ保護者の参加意欲が下がったかと思う。手段を工夫したい。生徒の式典参加態度をもう少し良くしたいと考える。生徒自らが意識し、行動するように工夫したい。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 成績処理だけでなく、調査書や指導要録の作成にも校務支援システムを活用する。 生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル説明を実施し、わかりやすく、間違いが起りにくい方法を検討する。 学習時間調査や考査の統計資料を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度より調査書にも校務支援システムを活用し、出力することができた。しかし、評価の点検項目が煩雑になったため、今年度はより効率的でかつ正確な運営を実施したい。 学年ごとに学習時間調査を実施した。生徒に還元できるようにわかりやすい資料を作成し、学年と連携していきたい。

生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の交通マナーを向上させ、交通事故件数を減少させる。 生徒自ら規律を守り、元気に挨拶できる意識を育てる。 いじめの未然防止に係る取組を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの命を守るための啓発活動、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 指導日と日常指導の両面から意識の向上を図る。 いじめ防止をテーマとした活動機会を設ける。アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 並進走行、斜め横断など安全に対する意識向上は未だ課題である。日常のありとあらゆる指導場面にて、根気よく指導を続けたい。 整った制服の着こなしが必要な集合する場面、職員室への入室など、各自の意識向上は見られる。継続指導項目である。 いじめの温床として、SNS上でのトラブルが目立ってきた。情報モラルの教育を徹底したい。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の観点を持った進路指導を行う。 3年間を見通し、生徒にとってより有意義な進路指導の体制を整備する。 学年団と連携のとれた進路指導の体制を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> 「職業ガイダンス」「大学出張講義」「看護実習」等を行い、生徒の勤労観や進路意識の向上を図る。 進路に関する情報を教員にも積極的に提供し進路について理解を深める場を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職業ガイダンスや、大学出張講義などを通して高校卒業後の自分を想像し、将来のことを真剣に考えようとする兆しが見えるようになった。 教員間の進学に対する意識が高まり、本校生徒に適した進路指導について深く考えた。 生徒の取り組みを目に見える形で残すことを考えていく必要がある。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> 学校環境の維持・改善を図る。 施設設・設備の安全を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動を充実させ、清掃点検を実施する。 安全点検を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃点検の結果、清掃状況が思わしくない場所の清掃監督者に、状況を連絡した。その結果、清掃状況が改善された。 毎月、必ず安全点検を実施してもらうことで、修繕が必要な場所を速やかに修繕することができた。特にカーテンの修繕を重点的に行うことができた。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> 学校紹介の充実。 図書館利用の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校案内の作成、およびホームページを利用して、定期的に学校情報を発信する。 図書館情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校案内を一新し、より中学生及び保護者に強くアピールすることができた。 ホームページの更新については、積極的に行ったが、一部不十分なところがあった。来年は定期更新を含め、更新を活発に行いたい。 積極的に図書を紹介を行ったが、利用者数に反映しなかった。利用者増の方法を考えたい。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体が活気溢れる行事を企画運営する。 生徒会活動を活発化する。 部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の質の向上を図る。 生徒自身による各委員会を開催する。 部活動への側面支援と指導を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員の協力で、各行事の円滑な運営を実現できた。各行事の精選及び充実を図りたい。 生徒会執行部発案の意見箱設置等、生徒全体の意見を生かそうと意欲的だった。 東海大会、県大会などの上位大会に多くの部活動が進出し、非常に活発に活動していた。
総合評価		各分掌とも、重点目標の達成に向けてよく努力した。学業と部活動を両立させた生徒が多く、進学実績が向上するとともに、県大会以上の成績を収める部活動も増加し、学校全体に活気があった。しかし、登下校中の交通マナーで御指摘を受けることも多く、さらなる指導が必要である。	